

「関西国際観光推進本部（仮称）準備委員会」 設置趣意書

わが国では、「観光立国の実現」が成長戦略重点分野の一つに位置付けられ、政府はビジット・ジャパン地方連携事業など数々のインバウンド政策を推進してきている。2013年に初めて1千万人を超えた訪日外国人旅行者数は、2014年に1341万人となり、本年は2020年までの目標である年間2千万人に迫る勢いで増加している。

関西は、歴史・文化・自然をはじめ、エンターテインメントや食文化など、多種多様な魅力を有する。また、関西国際空港のLCC就航数は国内最多を誇り、域内の交通網が発達し移動が便利であるなどインフラも充実しており、世界的な観光地として地位を向上させるポテンシャルが十分にある。さらに、ラグビーワールドカップ2019と2020年東京オリンピック・パラリンピックに続き、2021年には生涯スポーツの世界大会ワールドマスターズゲームズが関西で開催される。関西が世界から一層注目され、知名度が向上する好機を迎えたといえる。

観光は、地域の活性化や雇用の増大など裾野が広く、大きな経済波及効果が期待される産業であり、関西の官民が一体となってインバウンド観光の振興に取り組むことは、関西経済の発展や地域の振興にとって極めて重要である。本年2月、関西経済連合会は「関西広域観光戦略」をとりまとめ、関西財界セミナーにおいても広域観光を着実に進めていくことが合意された。3月には関西広域連合が「関西観光・文化振興計画」を改定した。これにより官民が同じ目標を持ち、それを達成するための取組み、推進体制、ロードマップが共有された。また、7月に行われた関西広域連合と関西経済連合会の意見交換会では、広域観光の推進体制に関して、「関西国際観光推進本部（仮称）」の設立およびそれに向けた準備委員会の早期設置について合意された。

このような状況を踏まえ、関西のインバウンド旅客を拡大するために、関係機関が一堂に会するプラットフォーム「関西国際観光推進本部（仮称）」の設立に向けて、関西広域のインバウンド観光を推進する自治体、経済団体、観光振興団体、観光関連事業者の代表は、その設立準備委員会を設置する。2016年4月の本部設置を目指し、規約・行動計画等の策定、広域観光周遊ルートなどの連携事業実施、インバウンド観光に携わる団体や事業者等への参画呼びかけに、全力で取り組んでいく。

2015年11月6日

関西広域連合
公益社団法人関西経済連合会
京都商工会議所
大阪商工会議所
神戸商工会議所
一般社団法人関西経済同友会
一般社団法人日本旅行業協会関西支部
新関西国際空港株式会社
関西地域振興財団